

2 施設の規模・構成

各施設については、各種競技の大会基準等を基に必要最小限の規模を設定した。

また、競技団体からのヒアリング調査により利用日数を把握した。

その結果、想定される年間利用形態は、スポーツ利用日数が約7割と見込まれ、残りの約3割は、この施設規模の範囲内で、コンサート、イベント等の多目的利用に有効利用することとなる。

施設の規模・構成の考え方

① 競技面数・フロア面積

主な利用者である屋内スポーツ競技団体に対し、各種大会における運営の状況や開催に必要な基準(国体基準等)について調査の上、必要な競技面数・フロア面積を整理

<メインアリーナ>

	競技面数			必要規模 (m,m)		
	短辺	長辺	面数	短辺	長辺	面積
バレーボール	1	4	4	31.0	76.0	2,356
バスケットボール	1	4	4	34.0	81.0	2,754
ハンドボール	1	3	3	46.0	78.0	3,588
バドミントン	5	5	25	40.5	77.0	3,119
卓球	3	20	60	36.0	80.0	2,880
体操	—	—	—	—	—	2,000
柔道	2	4	8	32.0	60.0	1,920
剣道	2	4	8	28.0	56.0	1,568
最大規模				46.0	81.0	3,726
(類似施設の平均)				45.0	81.6	3,681

<サブアリーナ>

	競技面数			必要規模 (m,m)		
	短辺	長辺	面数	短辺	長辺	面積
バレーボール	1	2	2	31.0	38.0	1,178
バスケットボール	1	2	2	34.0	41.0	1,394
ハンドボール	1	1	1	26.0	46.0	1,196
バドミントン	2	6	12	29.8	43.6	1,299
卓球	8	3	24	32.0	36.0	1,152
体操	—	—	—	—	—	2,000
柔道	2	3	6	32.0	46.0	1,472
剣道	2	3	6	28.0	42.0	1,176
最大規模				34.0	46.0	1,564
(類似施設の平均)				33.1	42.0	1,485

<柔剣道場>

	競技面数			必要規模 (m,m ²)		
	短辺	長辺	面数	短辺	長辺	面積
柔道	2	2	4	29.0	29.0	841
剣道	2	2	4	28.0	28.0	784
最大規模				29.0	29.0	841
(類似施設の平均)				－	－	1,020

これらを踏まえ、「する」スポーツに適した施設構成として、メインアリーナ:バスケットボールコート4面、サブアリーナ:バスケットボールコート2面、柔剣道場:各2面、弓道場を想定

フロア面積については、メインアリーナ:3,726 m²(46m×81m) + α 、サブアリーナ:1,564 m²(34m×46m) + α 、柔剣道場:841m(29m×29m) + α とする。

これらの面積については必要最小限の規模とし、今後、設計段階で検討することとする。